

令和3年度 3年進路通信 雲外蒼天 第1号

令和4年4月19日

1 3年生のスタートですね

新年度が始まりました。3年生のみなさん、心構えはよろしいでしょうか。最上級生になる年です。1つ1つの行事が「あずま中最後の」年です。そして、受験を迎える年です。

みなさんに望むこと、大切にしてほしいこと、それは「まじめな心」「素直な心」。成長の段階で、それらを失いかけたり、先生に背を向けたくなったりすることがあるかもしれません。でも、先生たちはいつも向き合っていこうと思っていますよ。

もう1つ加えるとしたら、それは「高みへ挑戦する心」です。「部活動」も「合唱」も「進路」も、「これくらいでいいや」と妥協しないこと、「もっと上へ」「もっと高みへ」と挑戦し続ける心を失わないことです。

2 進路選択へ向けて マスダツーリスト 代表取締役 江原良則さんの話より

生徒写真や卒業アルバムでお世話になる、マスダツーリストの江原さんの話を紹介します。

みなさんは今、そうじにどう取り組んでいますか？①「言われなくてもできる人」②「上手にサボってできる人」③「そこそこやる人」の3つに分かれると思います。

社会が求める人材は①の人です。③の人も、だんだん①になっていくことはできます。

②の人はかわいそうです。そういう考えでいる限り、社会に必要とされることはないし、仕事も長続きしないものです。また、そういう人に限って、同じ考えの人とはやけに話が合い、お互いを正当化し合って満足したり、できないことを言い訳したりして、それこそ一生考えを改めることはしないのです。仕事のやり甲斐や満足感を感じることもありません。

受験への取組についても同じようなことが言えるのではないのでしょうか。課題から逃げ、学習を上手にサボったり、進路情報を収集しようとしなかったり、志望校の決断を他人に委ねたり…そのような考えでいる限り、充実した進路選択はできないものと考えましょう。

そうならないよう、そしてみなさんの進路、夢の実現への手助けになるようお願い、生徒のみなさんと保護者の方々に向けて、この進路通信に進路（主に高校入試）に関する情報やニュースを掲載していきます。かならず目を通してください。

「雲外蒼天」…辛い時期を乗り越えた先には、必ず素晴らしい青空が待っていると信じ、進路選択を進めていきましょう。

3 第1回進路希望調査

本日、各家庭に進路希望調査の用紙が配られました。三者面談の資料としても活用したいと考えています。安易に「未定」とせず、この機会に親子で検討してみたいはいかがでしょうか。

情報を与えられることを待っているだけでなく、言われなくても自分で行動することが必要でしょう。しっかりと自分と向き合い、未来に向かって確かな一歩を踏み出してみましょう。